

# 広報 五所川原市

発行 五所川原市  
〒037  
青森県五所川原市宇岩木町12  
☎0173-2111(代)  
編集 総務部秘書企画課  
印刷 五所川原印刷株式会社

市の人口 総数51,596人 (男24,703・女26,893) 世帯数15,103 (7月31日現在) (毎月2回 1日・15日発行)

## 虫と火まつり終る



五穀豊じょうの願いを込め行進する「虫」(上は3日に行われた夜間運行の「虫」)

恒例の五所川原「虫と火まつり」が、8月3日の自衛隊音楽隊などの「市内音楽行進」を皮切りに、最終日7日のねぶた運行まで5日間にあたって盛大に繰りひろげられました。

今年初めて、「虫おくり」を3日の夜に合同運行をし、好評を得ました。

また、4日に行われた花火大会も例年を上回る規模と新しい試みとして「音と光の饗宴」が行われ、多くの観客を魅了しました。

まつり期間中の人出は、天候に恵まれたこともあって約53万人にのぼりました。(五所川原商工会議所発表)



ねぶたの先頭を歩く森田市長



若者達による火まつりの大たいまつ



見事「市長賞」に輝いた白生会胃腸病院のねぶた

### 市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

昭和63年  
No.669

わたしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限らない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

8-15

毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。



# 島祭開かれる

津軽半島の関係二十市町村と県・商工団体などが主催する津軽半島祭が七月二十九日開幕し三十一日まで市民体育館を主会場に多彩な催しを繰り広げました。

津軽半島祭は、半島振興法によって津軽半島振興計画が承認されたことを契機とし、関係市町村が連携を深めて津軽半島の観光、物産等を広く内外にPRしようという開いたものです。

初日の二十九日には、午前十時から谷川英夫県副知事、森田市長を乗せたジープを先頭に五小、中央小の鼓笛隊、五一中のプラスバ



森田市長・谷川県知事を先頭に市中パレード

ンドなど約六百人が参加した市中パレードで祭りがスタート。

開会式では、実行委員会会長の森田市長が「津軽半島祭は、津軽半島が更に飛躍へのステップを歩むために、半島地域二十市町村が一体となり企画したもので、この祭りを契機として関係市町村の連帯がさらに深まり、県内外に対する宣伝が

広まることを切に願います」とあいさつを述べました。続いて谷川県副知事が「津軽半島のエネルギーを結集し、各市町村が連携して魅力ある津軽半島の振興に努力してください」とあいさつを述べた後、関係者によりテープカットが行われました。



オープンにあたってよろこびのテープカット

市民体育館では三十一日まで、津軽半島市町村の特産を即売する物産展、自然観光展、歴史展、児童絵画作品展のほか、各市町村ご自慢の郷土芸能が賑やかに

披露された発表会



会場全景



各市町村の郷土芸能が披露された発表会



# 第一回 津 軽 半



中里町を出発するサイクリングの参加者達



津軽鉄道を利用して上演された「金多豆蔵」



人形劇列車の旅で行われたプラットフォームイベント(写真は五所川原駅—石神太鼓)

披露されました。  
物産展には、水産物や山菜加工品、漬物、リンゴジュースなど津軽半島の豊富な海と山の幸やヒバの木工品が並び訪れる人たちの好評を得ました。

一方、二十九日には津軽半島を走ろうと企画された半島サイクリングに約二百五十人が参加し、津軽鉄道中里駅を午前九時三十分スタートして快晴の津軽路を軽やかに疾走しました。

また、三十日には五所川原—中里間を結ぶ津軽鉄道

を舞台に、金多豆蔵人形劇が公演され、往復で約二百人が列車の旅と人形劇を楽しみました。沿線の五所川原、金木、中里駅の各プラットフォームでは、森田村の石神太鼓や、なにもささデイスコ(中里)、太宰デイスコ(金木)も出演して色どりを添えました。

さらに、三十一日には津軽半島バスの旅も実施され、北端コースに九十人、西海岸コースに四十人が参加し、各町村の史跡や資料館、景勝地を巡りながら津軽半島

の良さを再認識していただきました。

実行委員会では、十月二十八、二十九日にも市民体育館で「津軽半島産業まつり」を開催するほか、二十八日には中央公民館で中央から著名の講師を迎え「津軽半島—その伝統と創造」をテーマに津軽半島の伝統と資源、その未来への活用等を含めたフォーラム・デスカッションを開くことになっています。



賑わいをみせた物産コーナー



# 津軽自動車道着工へ 促進期成同盟会発足

津軽自動車道建設促進期成同盟会の設立総会が七月二十七日、市内で開かれ、青森市、五所川原市、西北地方の市町村長をはじめ、県選出国會議員や県議會議員、関係職員など約百人が出席して発足しました。

同会は、第四次全国総合開発計画(四全総)の高規格幹線道路構想に津軽自動車道(青森、五所川原、鰹ヶ沢間)が盛り込まれたことを受けて、五所川原市、青森市のほか西北地域の各町村を合わせ二市十四町村で設立したものです。

津軽ならびに津軽半島地域は、高速交通体系の未整備により地域の産業・経済・文化は低水準にあり、津軽自動車道の建設は来たるべき二十一世紀に向け飛躍的発展を期す起爆剤となるものと地元の期待は大きく、地域の発展のため一致団結して運動を進めていきたい」とあいさつを述べました。



設立総会で発起人を代表してあいさつする森田市長

- ◎会長 森田稔夫五所川原市長
- ◎副会長 斎藤禮次郎鰹ヶ沢町長、木村章一板柳町長
- ◎理事 工藤正青森市長、松浦武深浦町長、神繁春森田村長、小山真人岩崎村長、古坂英柏村長、蝦名魏稲垣村長、成田佐太郎車力村長、大橋忠勝金木町長、塚本恭一中里町長、三重貢市浦村長、加藤久宜小泊村長
- ◎監事 盛貢木造町長、中野肇司鶴田町長

## 第二回 コミュニケーション開講

今年で二回目となるコミュニケーションカレッジ(地域振興大学)が七月二十三日、青森職業訓練短期大学校で開講しました。

これは、二十一世紀を目指す。理数系教育に強い人材育成に取り組む市・青森職業訓練短期大学校・誘致企業などで組織している五所川原地域工業振興懇談会(会長・辻茂青森職業訓練短期大学校長)が提案し、市教育委員会が主催して開催したものです。

開講式では、出席した四十人の入講生一人ひとりに

入校許可証が手渡された後、辻茂校長が「情報の先端化に立ち遅れないためにも、皆さんは初心を忘れることなく、それぞれの目標に向かってがんばってください」と激励しました。

続いて、入講生を代表して高橋ルミ子さん(会社員)が誓いの言葉を述べ開講式を終わりました。

この日は、同大学の葛西清和教官を講師に「コンピュータの取り扱いとプログラミングの基礎」について講義を受けました。

同カレッジは、十一月二十六日まで十



講義風景

回開かれ「グラフィック機能の活用」「ファイルの活用」「応用プログラミング」などを勉強することになっていきます。



# 全国農業コンクールで 笠井さんが名誉賞獲得

第三十七回全国農業コンクール全国大会が七月二十八・二十九日の両日、青森

市文化会館で開かれ、地域農業の振興に貢献している全国の優良農家二十人が実績を発表しました。

設の共同利用、耕作地の交換耕作等を積極的に進めていることを発表して、見事最高賞である名誉賞(農林水産大臣賞)に選ばれました。

本市からは、

笠井実さん(市内沖飯詰)が「水稲、小麦の大規模複合経営によるコスト低減」と題し、地域の発展のための農地の集合同事を始め、農業機械・施設



森田市長(左)に受賞を報告する笠井さん(右)

同氏は八月二日、市役所を訪れ森田市長に名誉賞獲得を伝えました。これに対し森田市長は「大変おめでとうございます。本当にすばらしい快挙であり、五所川原の誇りとなるものです。一層の活躍を期待しています」と称えました。

## 福祉基金にご寄付ありがとうございました

- 東北税理士会五所川原支部(田中文雄代表) 五千四百円―会合の益金の益金
- 五所川原合唱団(笹昭夫代表) 六万七千八百六十六円―三十五周年記念発表会の益金
- 白生会胃腸病院(工藤晃紀代表) 五万円―歌の発表記念

- 五所川原高校JRC部ボランティア委員会(奈良岡厚代表) 十万三千七百六十五円―五高祭の売上金
- 照秀会五所川原支部(江良俊衛代表) 十万三千二百七十九円―チャリティ発表会の益金
- 五所川原ロータクトク

- ラブ(和島隆志代表) 二万円―チャリティダンスパーティーの益金
- あかね荘(飛島のぶ代表) 三十万円―香典返し
- タザワダンスルーム(田澤俊一代表) 四万五千円―サマーダンスフェスティバルの益金

# 市民会議にご参加ください

## 市民会議日程表

月	日	曜日	時間	対象地区	開催場所
8	22	月	午前10時	中川地区	コミュニティセンター中川
	24	水	〃	松島地区	コミュニティセンター松島
	26	金	〃	長橋地区	コミュニティセンター長橋
	27	土	午後1時	栄地区	コミュニティセンター栄
	29	月	午後2時	梅沢地区	梅沢コミュニティセンター
	31	水	午前10時	七和地区	コミュニティセンター七和
9	2	金	午前10時	小曲地区	農村婦人の家
	27	火	午後1時	五所川原(北)	しきしまコミュニティセンター
	29	木	午後1時	五所川原(南)	老人福祉センター

※広報№667.668でお知らせした梅沢地区の市民会議は、8月29日(月)の午後2時からに変更となりましたのでお間違いのないようお願いいたします。

## 地区ごとに開いています

市は、「うるおいと活力のあるまちづくり」のために、昨年同様各地区で市民会議を開きます。市民会議は、市民から直接地域の問題点や要望、意見などを聴き、それをできるだけ市政に反映させていこうとするもので、どなたでも参加できます。

私達を取り巻く環境は、国際化・高齢化・高度情報化・技術革新など急速に変化してきております。

こうした中で本市においては、21世紀を展望しながらこれらに的確に対応したまちづくりを進めるべく、各界の協力を得て新五所川原市総合計画の策定作業を進めてまいりました。

この度、草案がまとまりましたのでこの機会に再度ご検討をいただきたいと思っております。

特に、21世紀を担う若い方々の積極的なご参加をお願いします。

※五所川原(北)は五小学区、五所川原(南)は南小学区及び中央小学区となります。



# 警察官(B)・交通巡視員 採用試験

県警察本部では、高等学校卒業程度の人を対象として警察官及び交通巡視員の採用試験を次のとおり行います。

### ▷採用予定人員

- 警察官 約30人
- 交通巡視員 約2人

### ▷受験資格

- 警察官 昭和36年4月2日から昭和46年4月1日までに生まれた男子。ただし学校教育法による大学の学部を卒業した者又は昭和64年3月31日までに卒業する見込みの者(人事委員会が同等の資格があると認める者を含む。)を除く。
- 交通巡視員 昭和40年4月2日から昭和46年4月1日までに生まれた女子。

### ▷試験日程

- 第一次試験 10月16日(日) 青森商業高等学校、弘前高等学校、八戸西高等学校
- 第二次試験 11月25日(金) 県警本部

### ▷申し込み受付 9月19日(月)まで

詳しいことは、五所川原警察署(☎2141番)

へどうぞ

# 管渠工事にご協力を!

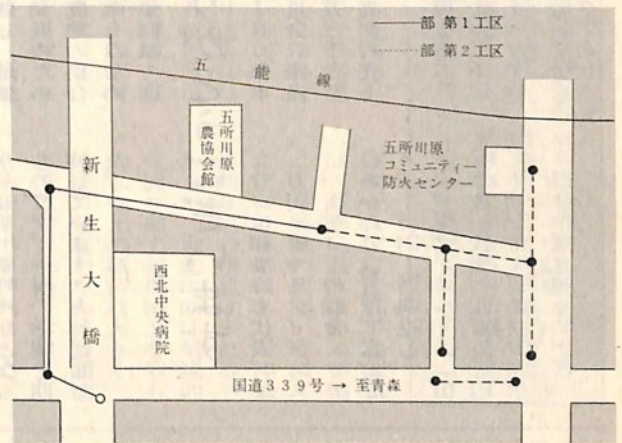
市では、公共下水道工事を施行しておりますが、このたび次の箇所にて施工いたします。

▷工事場所 市内弥生町内

▷工事期間 第1工区-10月25日まで(ただし、8月15・16・17日は除く)

第2工区-10月~12月(予定)

※この間、一部通行止となる箇所もあり、車の通行や商店・歩行者の皆さんに大変ご不便をかけますが、公共事業をご理解いただき、事故等の防止にご協力をお願いします。



## 交通死亡事故抑止

# 交通マナーアップ '88キャンペーン実施中(9月30日まで)

高めよう交通マナー

広めよう安全マインド

◎飲酒・暴走運転の追放。

◎安全運転5則に加えて次のマナーを守ろう。

1. 「早目合図」を励行しよう。
2. 「早目点灯」を励行しよう。
3. 「信号表示」を守って安全運転しよう。

4. 無理な「割り込み」「進路変更」はやめよう。

5. 違法駐車はやめよう。

6. シートベルト・ヘルメットの正しい着用。

7. あき缶、タバコの吸い殻などの投げ捨てはやめましょう。

## 交通事故発生状況

(五所川原警察署提供/昭和63年7月31日現在)

区分	駅前		三好中		川		毘沙門		飯詰		松島		松島団地		栄長		橋七		和		梅沢(梅泉地区)		7月	累計(1月~7月)
	7月	累計1月~7月	7月	累計1月~7月	7月	累計1月~7月	7月	累計1月~7月	7月	累計1月~7月	7月	累計1月~7月	7月	累計1月~7月	7月	累計1月~7月	7月	累計1月~7月	7月	累計1月~7月	7月	累計1月~7月		
件数	8	47	1	10	1	5	0	15	2	4	3	12	2	12	1	14	2	8	0	8	1	4	21	139
死者		2		1								1			1									5
傷者	8	48	1	11	1	5	0	18	2	5	4	15	2	12	1	17	2	11	0	11	1	4	22	157
死亡事故 ○ 継続日数		135		165		6,417		1,114		2,652		139		602		82		412		987		6,417		



## 気をつけよう食中毒

食中毒は、気温の高い夏に多く発生していますので、特に弁当を作る時は次のことに注意しましょう。

- 新鮮な材料を使う。
- 熱をよく加えたものだけにし、生ものはぜったい使わない。
- つめあわせる時は、ごはんもおかずもさましてからにする。
- おにぎりは、十分手を洗ってからつくる。(なるべくなら、洗って消毒したおにぎり器か、ラップ類でにぎると良い。指にきり傷や、おできがあると食中毒の原因になる細菌がいっぱいいますので直接にぎることは止めましょう。)
- 弁当を持って出かける時は、通気性の良いもので包み、日光にあてたり暑い所に置かないようにしましょう。
- 食べ残しの弁当や、折詰はもったいながらずに捨てましょう。

## 後期転職訓練生の募集 — 県立高等技術専門校 —

- ▷ 募集期間 8月18日～9月17日
- ▷ 募集訓練科 縫製科
- ▷ 募集定員 青森高等技術専門校 20人  
八戸高等技術専門校 10人
- ▷ 選考日 9月22日(金)
- ▷ 訓練期間 10月～翌年の3月まで(6ヶ月間)
- ※ 入校願書など詳しいことは、五所川原公共職業安定所(☎☎3171番)又は県立高等技術専門校に直接お問い合わせください。

## 文化講演会

川上裕之氏(元NHKチーフアナウンサー)を迎えて「人と人、心と心のふれあい」と題して文化講演会を開きますから多数ご参集ください。



- ▷ 日時 9月6日(火)  
午後6時30分～
- ▷ 場所 市民文化会館
- ◎ 主催 市教育委員会、市連合PTA



## おかあさんの「育児教室」を開催 — 西北教育事務所 —

育児にあたって、あなたが日頃困っていること、たずねてみたいと考えていることについて専門の先生からお話を聞いたりする絶好の機会です。幼児をお持ちの方でしたら、どなたでも参加できますので、誘い合ってお気軽にご参加ください。

- ▷ 日時 8月25日(木)午前9時30分～
- ▷ 場所 市中央公民館
- ▷ 内容 ①しつけで困っていること②身体的な発育・健康に関すること③遊びや友だち・オモチャ・子どもの気持ち・家庭のあり方に関すること④ことばの発達・絵本・テレビの問題。正しい知識の与え方・美しい心の育て方の問題⑤その他育児に関すること。
- ▷ 申し込み方法 市教育委員会社会教育課(☎☎2111番内線250番)へどうぞ。
- ▷ その他 ①昼食を持参してください②できるだけ親子で参加してください。託児の用意をしております③簡単な体操のできる服装で参加してください。

## 町内対抗野球大会のお知らせ — 市野球協会 —

- ▷ 大会期日 9月4・18・23・25日
- ▷ 場所 北斗グラウンドA・Bコート
- ▷ 参加料 1チーム 4,000円
- ▷ 組み合わせ会議 8月24日午後6時30分～  
市中央公民館
- ※ 注意 ①選手数の少ない町内は隣接町内との合併を認める。②全選手は30歳以上(バッテリーは35歳以上)とする。
- なお、詳しいことや申し込みは協会事務局(山本スポーツ店☎☎1038番)へどうぞ。

## 「雪と寒さに強い住宅」講習会 — 五所川原土木事務所 —

県では、国際居住年(1987年)を記念して「雪と寒さに強い住宅」を発刊しました。

積雪寒冷地である本県において、夏の生活環境を損なわずに、長く厳しい冬に十分対応できる住宅設計を求める尺度として大変参考になるものです。

- ▷ 日時 8月27・28日午後1時～
- ▷ 場所 市立図書館

※ 当日、テキストを無料配布いたします。





## 9月の保健センター「相談日」

- ▷日時 9月2・9・16・30日(毎週金曜日)  
の午前10時～午後3時(30日は正午まで)
- ▷内容 保健婦が血圧の測定や尿検査を含めた健康相談に応じます。赤ちゃんからお年寄りまで、お気軽にどうぞ。
- お問い合わせは市衛生課(☎2111番内線268番)へ。

## 乳幼児の健康診査

- ▷場所 市保健センター
- ▷受付時間 12:45～13:00まで。
- ▷持参するもの 母子健康手帳、バスタオル。
- ※注意 6ヵ月児健康相談の際に、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを配付しますが、当日つごうで来れない場合は検査セットを衛生課窓口にて配付しますので6ヵ月、7ヵ月の赤ちゃんはぜひおいでください。
- なお病気療養中(特に伝染病の病気)のお子さんはご遠慮ください。

月令	対象児	期日	内容
3ヵ月児	S63年5月生	9月13日(火)	健康診査
6ヵ月児	S63年2月生	9月20日(火)	健康相談
1歳児	S62年8月生	9月26日(月)	健康相談
1歳6ヵ月児	S62年3月生	9月27日(火)	健康診査

お問い合わせは、市衛生課(☎2111番内線268、272番)へどうぞ。

## みんなの健康教室

- ▷日時 8月26日(金)午後1時
- ▷場所 市保健センター
- ▷講師 山本直哉先生  
(山本耳鼻咽喉科医院長)
- ▷テーマ 「難聴について」
- 主催 北五医師会・市民保健協議会

## 子宮がん・乳がん 甲状腺の検診

- ▷対象者 30歳以上の婦人(昭和34年3月31日までに生まれた人)
  - ▷申し込み受付期間 8月15日から8月25日まで(ただし、日曜日を除く)
  - ▷申し込み方法 申込書でお申し込みください。(用紙は保健協力員、市役所、各支所に備えてあります。)
  - ▷申し込み先 市衛生課、市役所各支所、保健協力員のいずれかに。
  - ▷検診場所 市保健センター
  - ▷受診者負担 国民健康保険加入者400円、その他の保険加入者は1,000円。(ただし、70歳以上の人、生活保護世帯の人、市民税非課税世帯の人は無料になりますので受付の際に証明書を提出してください。)
  - ▷持参するもの 検診当日は保険証、健康手帳(40歳以上の人のみ)、バスタオルを持参してください。
  - ▷検診月日 9月21・22・28・29・30日、10月5・6・7日、11月9・10・15・16・17・18日のうちから市が指定し、後日、申込者各自に通知します。
  - ▷注意すること 乳がん、甲状腺のみの受診はできません。ご了承ください。
- 詳しいことは、市衛生課(☎2111番内線272番)へどうぞ。

## 胃がん検診のお知らせ

月日	対象地区
10月18日	栄町、八重菊、烏森、一ツ谷、鎌谷町
10月19日	敷島町、幾世森、上平井町、中平井町、下平井町、長橋字橋元
10月20日	若葉、小曲
10月21日	寺町、岩木町、柳町、川端町
10月22日	錦町、末広町、新宮町、新宮、柏原町、芭蕉

- ▷対象者 3月に申し込まれた方のみ。
- ▷場所 市保健センター
- ▷受付時間 午前6時～
- ※詳しいことは、市衛生課予防衛生係(☎2111番内線268・272番)へどうぞ。

休日・夜間の急病は  
在宅医師の照会は消防署へ  
**☎34-4999番**  
(救急医療部会)

川

柳

川柳岩木吟社

どん底に答えがあった目安箱

わからない孫の絵天才かも知れず

微笑して天寿は釈迦の掌に眠る

虹の橋今日も渡れぬかたつむり

年金の余裕を見せるループタイ

自慢したい時には啼かぬ九官鳥

一 粹  
一 かつみ  
一 葉  
一 野泣子  
一 策  
一 ふじや